Form No. 3441-270 Rev A

ProStripe® 560 芝刈り機

モデル番号 02657—シリアル番号 407000000 以上

オペレーターズマニュアル

はじめに

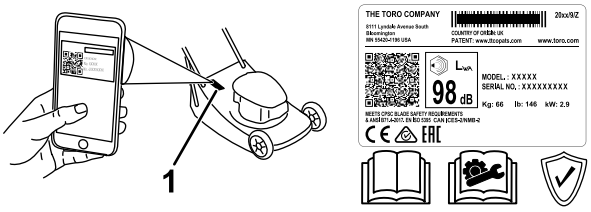
この製品は、ロータリーブレード式の歩行型芝刈り機であり、そのような業務に従事するプロのオペレータが運転操作することを前提として製造されています。この製品は、適切な管理を受けている家庭や商業施設などの芝生に対する刈り込み管理を行うことを主たる目的として製造されております。この機械は本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、また適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができますwww.Toro.com

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサービスにおたずねください。お問い合わせの際には、必ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。図 1にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

重要 **シリアル番号デカルについているQRコード無い場合もありますをモバイル機器でスキャンすると、製品保証、パーツその他の製品情報にアクセスできます。**



g338220

図 1

1. 銘板取り付け位置

いまのうちに番号をメモしておきましょう。

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

この説明書では、危険についての注意を促すための警告記号図 2を使用しております。これらは死亡事故を含む重大な人身事故を防止するための注意ですから、必ずお守りください。

g000502

図 2
危険警告記号

この他に2つの言葉で注意を促しています。**重要**は製品の構造などについての注意点を、**注**はその他の注意点を表しています。

この製品は、関連するEU規制に適合しています。詳細については、DOC シート規格適合証明書をご覧ください。

カリフォルニア州の森林地帯・潅木地帯・草地などでこの機械を使用する場合には、エンジンに同州公共資源法第4442章に規定される正常に機能するスパークアレスタが装着されていること、エンジンに対して森林等の火災防止措置をほどこされていることが義務づけられており、これを満たさない機械は、第4442章または4443章違犯となります。

エンジンの保守整備のため、および米国環境保護局EPA並びにカリフォルニア州排ガス規制に関連してエンジンマニュアル を同梱しております。エンジンマニュアルはエンジンのメーカーから入手することができます。

トルク値グロス値、ネット値について この製品に使用しているエンジンのグロス出力やネット出力は、SAE の J1940 または J2723 規格に則ってエンジンメーカーが実験室にて測定した数値です。安全性、排ガス規制、機能上の要求などに合わせて調整されるため、このクラスの芝刈り機のエンジンの出力トルクは、グロス値よりも大幅に下げてあるのが普通です。詳細については、マシンに同梱されているエンジンメーカーからの情報をご参照ください。

安全装置は改造したり無効化したりしないでください。また定期的に動作を確認してください。エンジンの速度設定を変更しないでください。安全性が損なわれて人身事故を起こす恐れがあります。

© 2020—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。 (JA)
Printed in the UK
禁無断転載

3441-270

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告

カリフォルニア州では、この製品に使用されているエンジンの排気には発癌性や先天性異常などの原因となる物質が含まれているとされております。

米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとされております。

目次

はじめに 1
安全について 2
安全に関する一般的な注意 2
安全ラベルと指示ラベル 3
組み立て 4
1 ハンドルを組み立てる 4
2 集草バッグを取り付ける 6
3 エンジンへのオイルの補給 7
製品の概要 8
仕様 8
運転操作 8
運転の前に 8
運転前の安全確認 8
燃料を補給する 9
エンジンオイルの量を点検する 9
刈高を調整する 9
エンジンの始動手順 11
ブレードを回転させる 12
ブレードの回転を止める 12
速度の選択 12
運転中に 12
運転中の安全確認 12
自走運転 13
エンジンの停止手順 13
刈りかすを集草する場合 13
ヒント 14
運転終了後に 14
運転終了後の安全確保 14
機体の清掃 15
保守 16
推奨される定期整備作業 16
保守作業時の安全確保 16
整備作業にかかる前に 16
エアフィルタの整備 17
エンジンオイルの交換 18
自走運転ケーブルの調整 18
ブレードの交換 19
ブレードの研磨 20
保管 21
格納保管時の安全確保 21
格納保管の準備 21
保管状態から通常使用状態への復帰 21

安全について

この機械は、EN ISO 5395 規格およびANSI B71.4-2017 規格に適合しています。

安全に関する一般的な注意

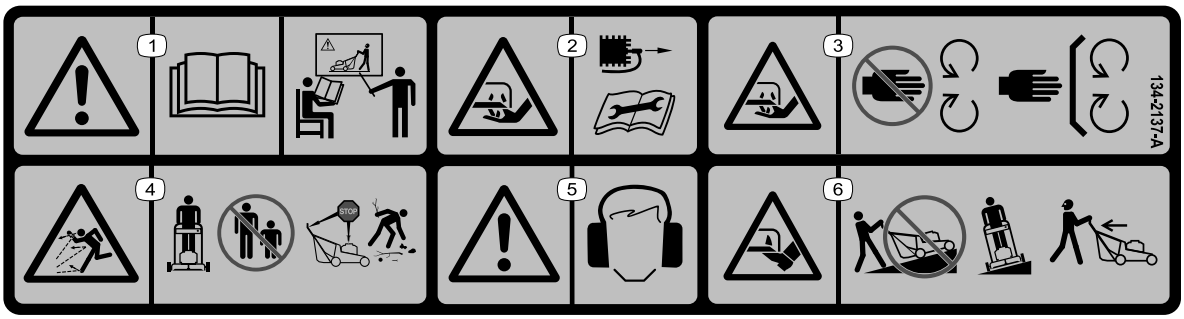
この機械は手足を切断したり物をはね飛ばしたりする能力があります。重傷事故や死亡事故を防ぐため、注意事項を厳守してください。

- エンジンを始動する前に、この*オペレーターズマニュアル*や機体やアタッチメントに付いている説明や警告を読んで内容をよく理解してください。
- 作動中のパーツや機械の下には絶対に手足を近づけないでください。排出口の近くに、手足などを近づけないでください。
- ガードなどの安全保護機器が正しく機能していない時は、運転しないでください。
- 作業場所に、無用の大人、子供、ペットなどを近づけないでください。子供に運転させないでください。講習を受けて正しい運転知識を身に着け、運転操作に必要な運動能力があり、責任ある大人のみがこの機械の操作を行ってください。
- 整備、給油、詰まりの解除作業などを行う時は、マシンを停止させ、エンジンを止め、各部が完全に停止したのを確認してください。

間違った使い方や整備不良は人身事故などの原因となります。事故を防止するため、以下に示す安全上の注意や安全注意標識 ⚠ のついている遵守事項は必ずお守りください「注意」、「警告」、および「危険」の記号は、人身の安全に関わる注意事項を示しています。これらの注意を怠ると死亡事故などの重大な人身事故が発生する恐れがあります。

安全ラベルと指示ラベル

以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal134-2137

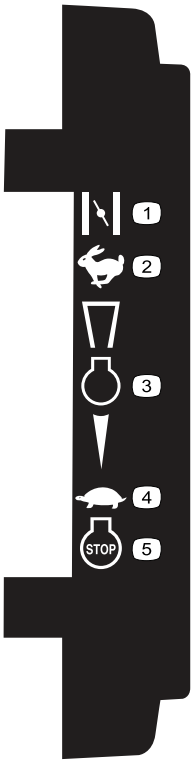
134-2137

1. 警告 *オペレーターズマニュアル* を読むこと 必ず講習を受けてから運転すること。
2. 刈り込み刃で手を切断する危険保守整備作業前には点火プラグのコードを外すこと。
3. 手の負傷や切断の危険回転刃に近づかないこと 使用時にはすべての安全カバー類を正しく取り付けておくこと。
4. 異物が飛び出す危険人を近づけないでください 機械から離れる場合はエンジンを停止する刈り込みを始める前に危険物を除去しておく。
5. 警告 聴覚保護具を着用のこと。
6. 刈り込み刃で足を切断する危険法面では上下方向に刈らないこと法面は横切る方向で以外に刈らないことバックする時は必ず後ろを確認すること。

decal94-8072

94-8072

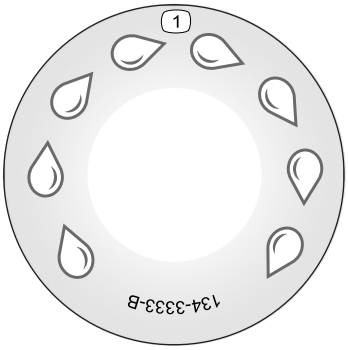
1. 警告 刈り込み機構部による手足のけが/切断の危険。



decal111-8959

111-8959

1. チョーク
2. 高速
3. エンジン
4. 低速
5. エンジン停止



decal134-3333

134-3333

1. クイック洗浄ポート

decal133-8062

133-8062

組み立て

重要 **エンジンについているビニルカバーは外して捨ててください。**

1

ハンドルを組み立てる

この作業に必要なパーツ

2	下側ハンドルバー左
2	下側ハンドルバー右
2	クランププレート
2	短いボルト
4	平ワッシャ
6	ロックナット
4	カップワッシャ
4	長いボルト
1	上側ハンドルバー
6	キャップ

手順

⚠ 警告

不用意にハンドルを組み立てるとケーブルが破損して危険である。

- **ハンドルの組み立ては、ケーブルを傷つけないように注意して行うこと。**
- **ケーブルがハンドル内部を通っており、後デフレクタに引っかからないことを確認すること。**
- **ケーブルの破損を発見したら、弊社の正規代理店に連絡すること。**

1. デッキ上部に露出している 2 本のボルトから六角ナットを外す。
2. 刈り込みデッキの左右それぞれに下側ハンドルバーを取り付けるこの前のステップでデッキから外したクランププレートと六角ロックナットを使用する図 3。

注 下側ハンドルチューブには真ん中付近に曲がりが形成されていますこの曲がり部分が地表面を向くように取り付けてください。

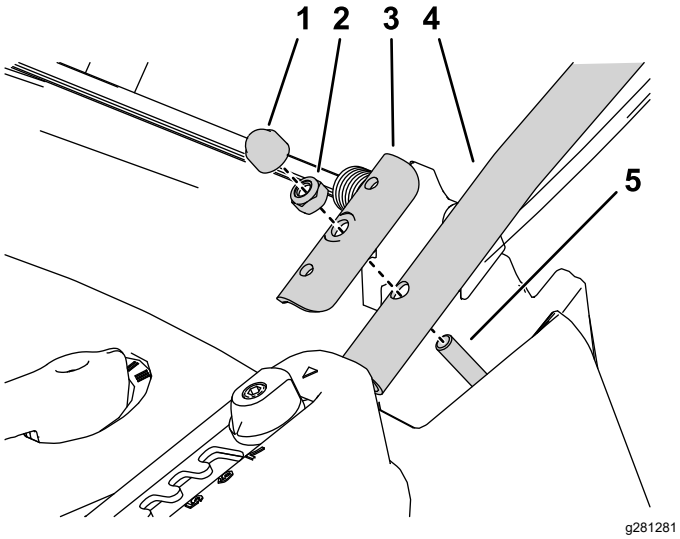


図 3
図は左側を示す

1. キャップ
2. 六角ロックナット
3. クランププレート
4. 下側ハンドルバー
5. 六角ナットを外して下側ハンドルバーを取り付ける

3. 刈り込みデッキの左右それぞれの側にブレースハンドルバーの下部を取り付けるボルト、平ワッシャを内側と外側に配置し、ロックナットで固定する図 4。

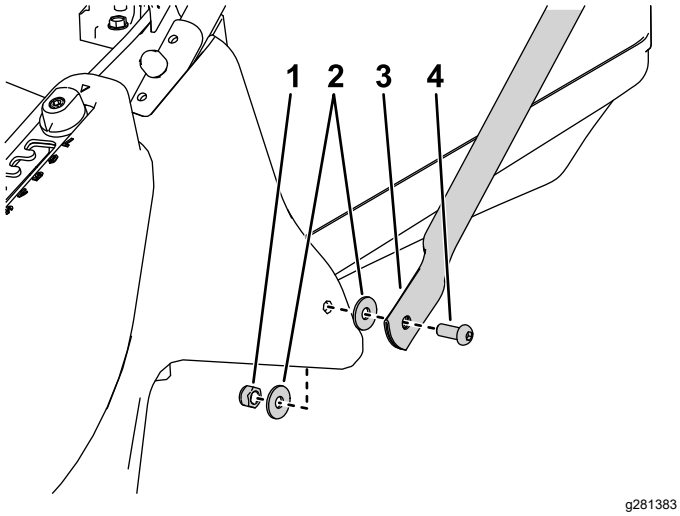


図 4
図は左側を示す

1. 六角ロックナット
2. 平ワッシャ
3. ブレースハンドルバー
4. ボルト

4. 左右の下側ハンドルバーに、上側ハンドルバーとブレースハンドルバーの上部を取り付けるそれぞれの側で、カップワッシャ3個、ボルト2本、六角ロックナット2個を使用する図 5。

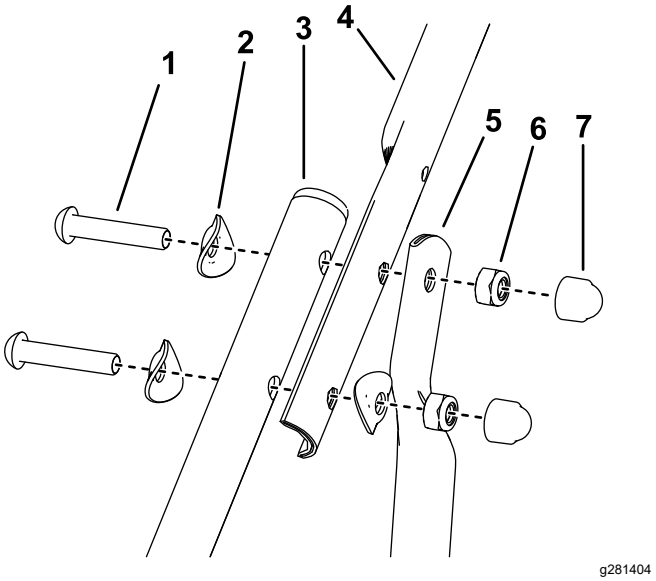


図 5
図は左側を示す

1. ボルト
2. カップワッシャ
3. 下側ハンドルバー
4. 上側ハンドルバー
5. ブレースハンドルバー
6. 六角ロックナット
7. キャップ

5. ハンドルバーに露出しているナット全部にキャップを取り付ける。

2

集草バッグを取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

1. 事故防止のため、集草バッグに付いている白いリボンは切断して廃棄する。
2. 集草バッグ内部にフレームをセットするハンドルを集草バッグの上にすること図 6。

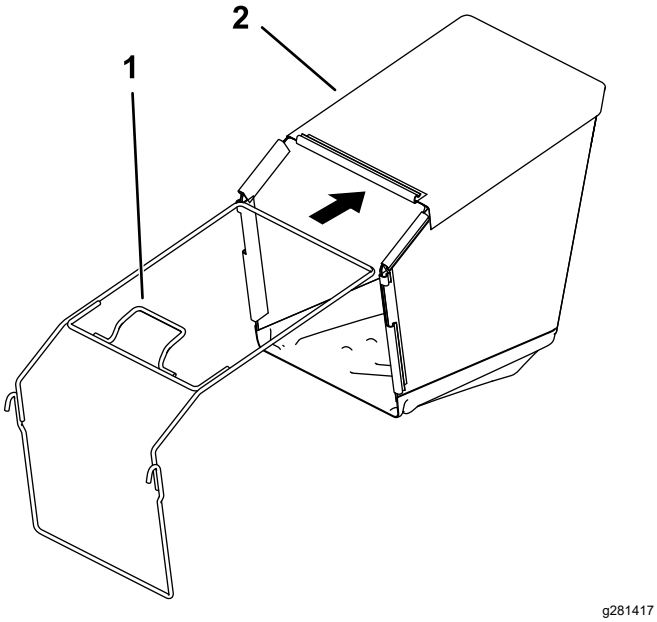


図 6

1. フレーム のハンドル　　2. 集草バッグ

3. フレームにプラスチック製クリップを取り付ける図 7。

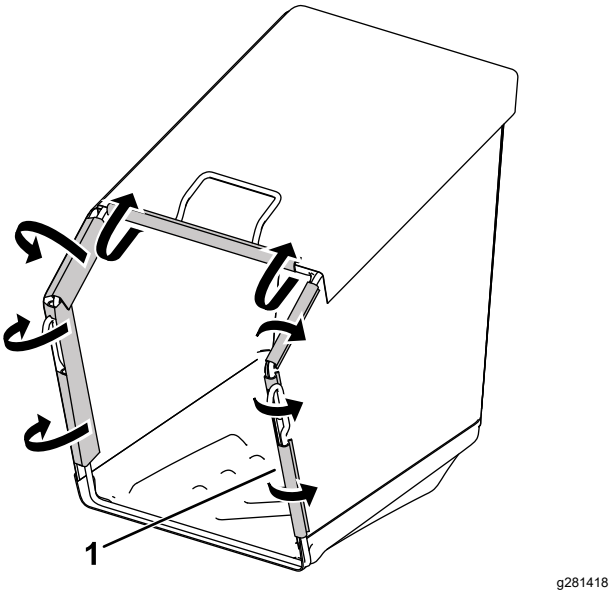


図 7

1. プラスチック製クリップ

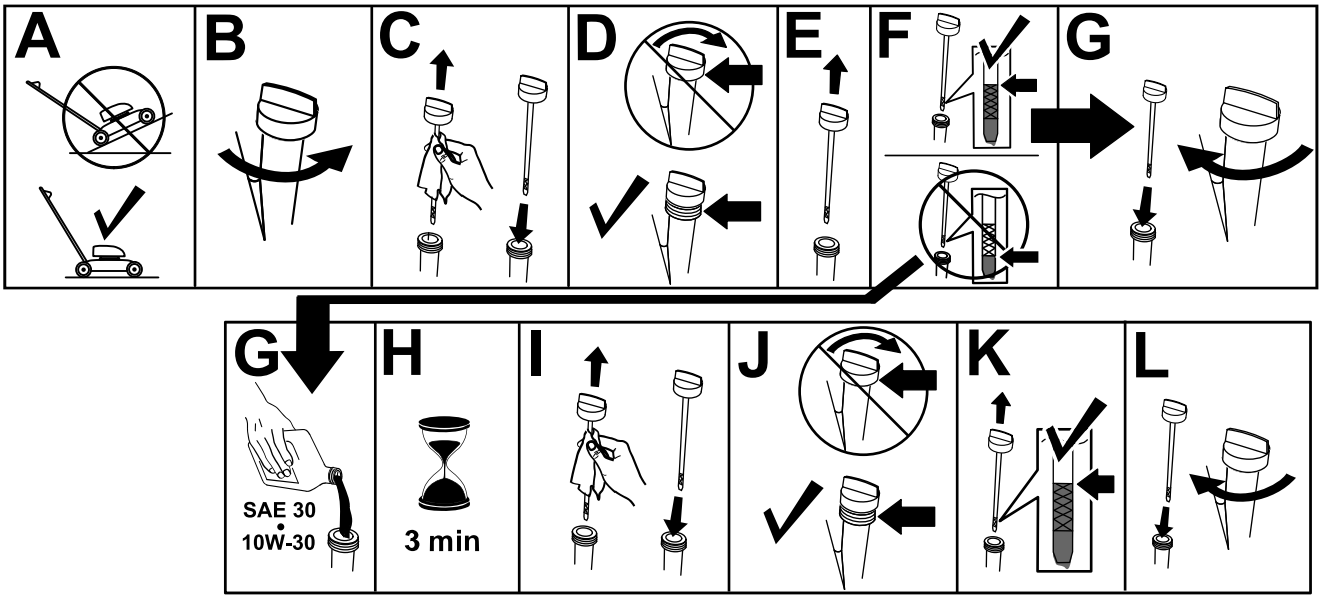
3

エンジンへのオイルの補給

必要なパーツはありません。

手順

重要 **エンジンにはオイルが入っておりません。エンジンを始動する前に、エンジンオイルを入れてください。**



g235721

図 8

製品の概要

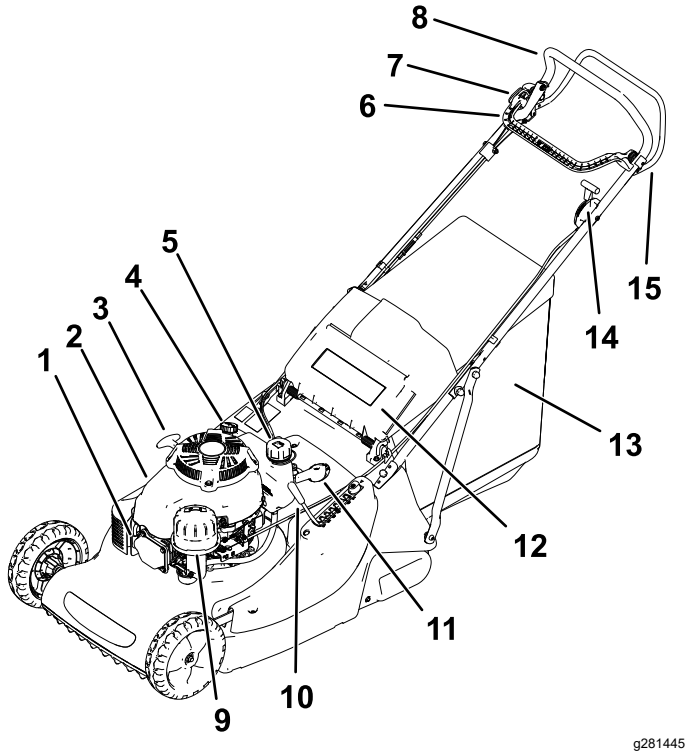


図 9

1. 点火コード
2. エンジンカバー
3. リコイルスタータハンドル
4. オイル補給口キャップ/ディップスティック
5. 燃料補給口キャップ
6. BBC コントロールレバー
7. BBC ラッチボタン
8. ハンドルバー
9. エアクリーナ
10. 刈高アジャスタ
11. 3 速度ギアセレクタ
12. 後デフレクタ
13. 集草アセンブリ
14. エンジン速度コントローラ
15. 自走バー

仕様

モデル	ウェイト	長さ	幅	高さ
02657	66 kg (145.5 lb)	175.5 cm (69.1")	58.6 cm (23")	103.9 cm (40.9")

運転操作

運転の前に

運転前の安全確認

安全に関する一般的な注意

- 必ず、機械を停止させ、各部の動きが完全に停止し、機体の温度が十分に下がったのを確認してから、調整、洗浄、格納、修理などの作業に掛かってください。
- 各部の操作方法や本機の正しい使用方法、警告表示などに十分慣れ、安全に運転できるようになりましょう。
- 使用前に必ず目視点検を行い、デフレクタ、集草装置など、ガード類や安全を確保する部材の状態を確認してください。
- 使用前に必ず、ブレードとブレードボルトの点検を行ってください。
- これから機械で作業する場所をよく確認し、作業の邪魔になるもの、機械に巻き込まれそうなものはすべて取り除きましょう。
- 回転中のブレードに接触すると大けがをします。ハウジングの下に手指を入れないでください。

燃料についての安全事項

- 燃料は非常に引火爆発しやすい物質である。発火したり爆発したりすると、やけどや火災などを引き起こす。
  - 静電気による引火を防止するために、燃料を補給する際には、燃料容器と機械を地面に直接置いて給油するようにし、トラックの荷台などでの給油は行わないようにする。
  - 燃料補給は必ず屋外で、エンジンが冷えた状態で行う。こぼれた燃料はふき取る。
  - 喫煙しながらや、周囲に火気がある状態で燃料を取り扱わない。
  - エンジン回転中などエンジンが高温の時に燃料タンクのふたを開けたり給油したりしな。
  - 燃料がこぼれたらエンジンを掛けない。気化した燃料ガスが十分に拡散するまで引火の原因となるものを近づけない。
  - 燃料は安全で汚れのない認可された容器に入れ、子供の手の届かない場所で保管する。
- 燃料を飲み込むと非常に危険で生命に関わる。また気化した燃料に長期間ふれると身体に重篤な症状や疾病を引き起こす。
  - ガソリン蒸気を長時間吸わないようにする。
  - ノズルや燃料タンクの注入口には手や顔を近づけないこと。

– 目や皮膚に燃料が付着しないようにすること。

燃料を補給する

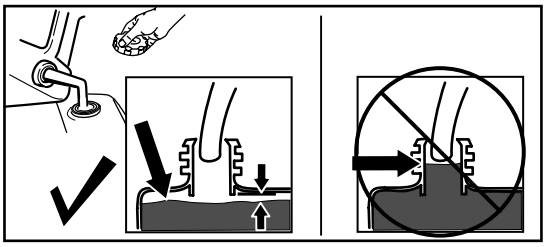
種類	無鉛ガソリン
最低オクタン価	87米国内、91米国外リサーチ法オクタン価
エタノール	体積比で10%未満であること
メタノール	なし
MTBEメチルターシャリーブチルエーテル	体積比で15%未満であること
オイル	燃料にオイルを混合しないこと

きれいで新しい購入後30日以内燃料を使ってください。

重要 **始動困難トラブル低減のために、新しい燃料にスタビライザー/コンディショナーを、コンディショナメーカーの指示に従って使用してください。**

さらに詳しい情報については、エンジンマニュアル をご覧ください。

図 10に示すように燃料タンクに燃料を入れる。



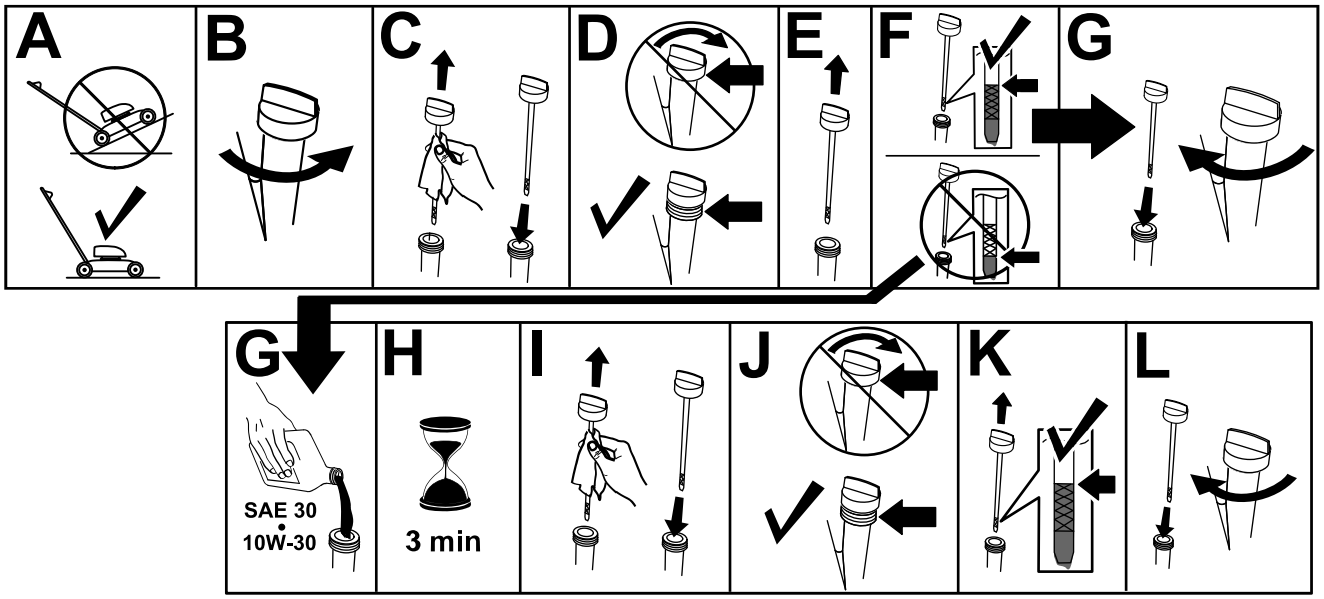
g230458

図 10

エンジンオイルの量を点検する

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

重要 **オイル量が少なすぎても多すぎても、そのままでエンジンを運転するとエンジンを破損させる恐れがあります。**



g235721

図 11

刈高を調整する

⚠ 危険

刈高調整中に刈り込みブレードに触れると、大けがを負う危険がある。

- **エンジンを停止させたら、すべての部分が完全に停止するまで刈高の調整を始めないこと。**
- **刈高の調整を行う時に、指や手をハウジングの下に入れないでください。**

⚠ 注意

エンジン停止直後は、マフラーが高温高圧状態となっていて触れると火傷を負う危険性がある。

高温のマフラーに触れないように注意してください。

刈り高の調整

1. 刈高レバーを握り、横方向に引いて固定ノッチから外す図 12。

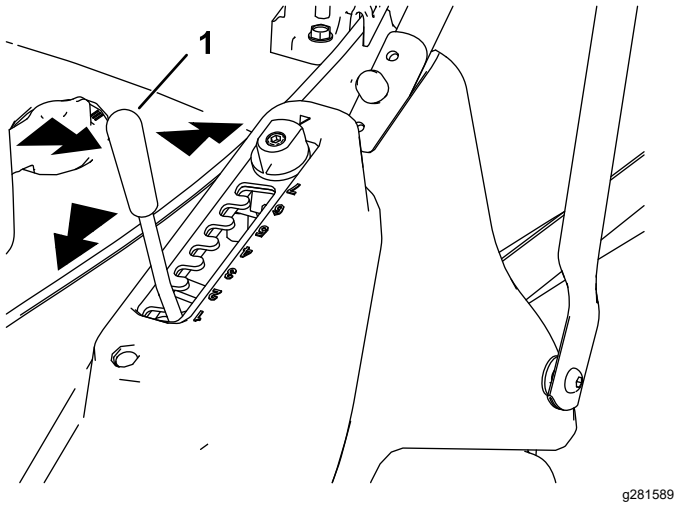


図 12

1. 刈高調整レバー

2. レバーを前方に倒すと刈高が下がり、後方に引くと刈高が上がる図 12。
3. 希望位置でレバーから手を離し、レバーが自動的にロック位置1-7のノッチのうちのひとつに固定されたことを確認する図 12。

刈高設定	刈高
1	13.0 mm
2	20.8 mm
3	28.7 mm
4	36.5 mm
5	44.3 mm
6	52.2 mm
7	60.0 mm

マッチカットを使用して刈高を調整する方法

マッチカット設定を使用すると、さらに6種類の刈高を設定することができます。これは、刈高セレクタプレートによって半目盛りの調整を可能にするものです。

1. 六角レンチを使用して、セレクタプレート保持ボルトをゆるめる図 13。

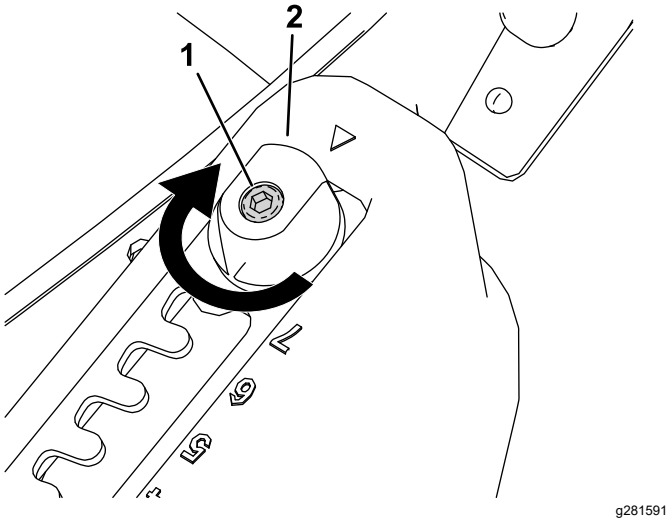


図 13

1. リテーナボルト
2. マッチカットアジャスタ

2. マッチカットアジャスタを 180° 回転させる図 13と図 14。

   注 セレクタプレートの下にインジケータが表示されマッチカットがセットされた状態となる。

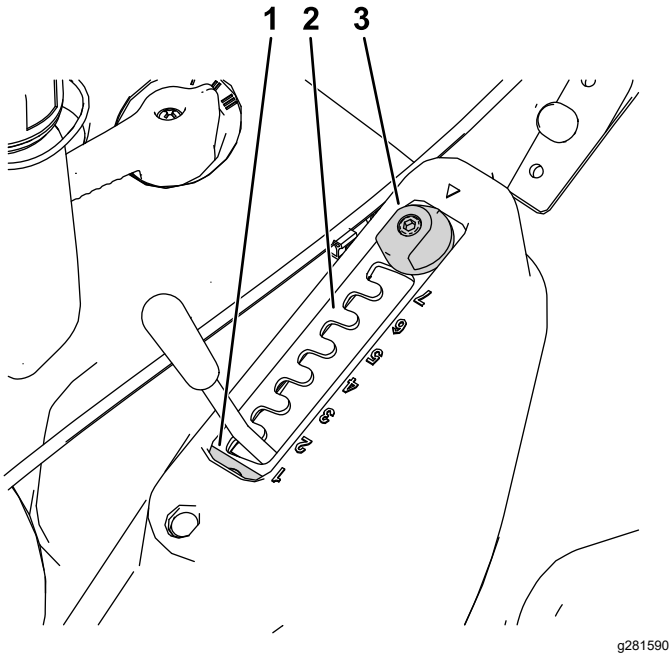


図 14

1. マッチカットインジケータ
2. セレクタプレート
3. マッチカットアジャスタ

3. セレクタプレート保持ボルトを締め付けてプレートを固定する。

刈高設定マッチカット使用時	刈高
1.5	16.9 mm
2.5	24.8 mm
3.5	32.6 mm
4.5	40.4 mm
5.5	48.3 mm
6.5	56.1 mm

エンジンの始動手順

1. エンジンが冷えている場合は、ハンドルを持ち、エンジン速度コントローラをチョーク位置にセットする。エンジンがまだ温かい状態の場合は高速位置にセットする。

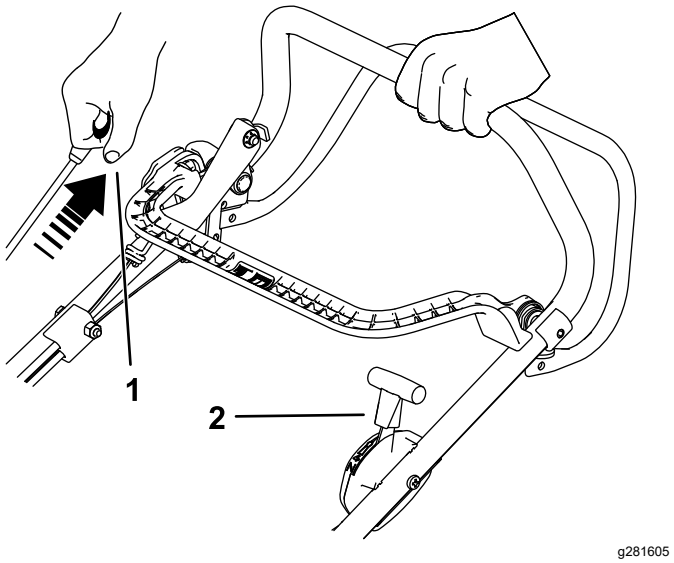


図 15

1. スタータのハンドルを引く。
2. スロットルコントロールはチョーク位置

2. リコイルスタータハンドルを、抵抗を感じるところまでゆっくり引き上げ、その位置から力強く一騎に引く。チョーク設定の場合は、エンジンが始動したら、スロットルをゆっくりと高速設定に戻す図 15

   重要 **マシンを保護するため、エンジン作動中はリコイルスタータを使用しないでください。**

   注 数回試みても始動できない場合には、代理店に連絡してください。

   注 この時点ではブレードはまだ回転しません ブレードを回転させる (ページ 12)を参照。

ブレードを回転させる

1. スロットルコントロールレバーが高速位置にあることを確認する図 16。
2. ブレードブレーキクラッチBBCラッチボタンを押し、BBC コントロールレバーをハンドル側に引き寄せる図 16。

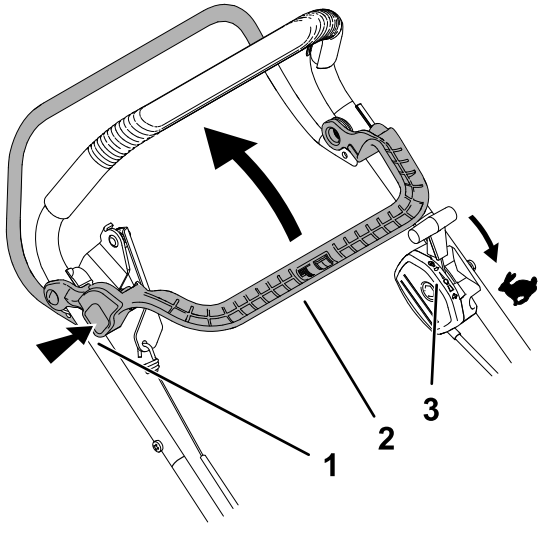


図 16

1. BBC ラッチボタンを押す。
2. BBC コントロールレバーをハンドル側に引き寄せる。
3. スロットルコントロールレバーは高速位置。

ブレードの回転を止める

BBC コントロールレバーから手を離すとブレードが停止し、ハンドルは休止位置に戻ります図 17。

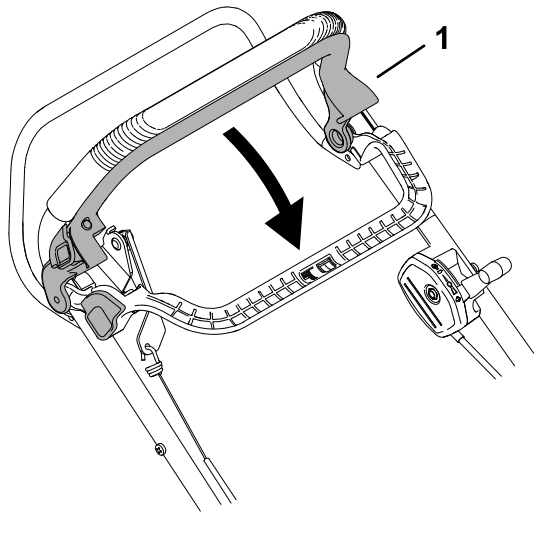


図 17

1. BBC コントロールレバーから手を離すとブレードが停止する。

注 ブレードコントロールバーから手を離離すと、ブレードは 3 秒以内に停止します。もし正しく停止しない場合には、直ちに使用を停止し、代理店にご連絡ください。

速度の選択

前進速度は 3 種類です刈り込みデッキ上部にある速度セレクタで希望する速度に設定してください。

- I – 1 速
- II – 2 速
- III – 3 速

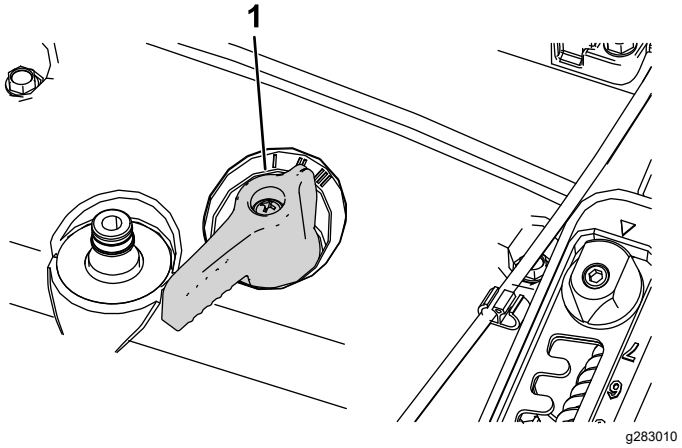


図 18

1. 速度セレクタ

運転中に

運転中の安全確認

安全に関する一般的な注意

- 作業にふさわしい服装をし、安全めがね、長ズボン、頑丈で滑りにくい安全な靴、および聴覚保護具を着用してください。長い髪は束ねてください。ゆるい装飾品やだぶついた服は身に着けないでください。
- この機械を運転する時は常に十分な注意を払ってください。運転中は運転操作に集中してください注意散漫は事故の大きな原因となります。
- 疲れている時、病気の時、アルコールや薬物を摂取した時は運転しないでください。
- ブレードは大変鋭利ですブレードに触れると大けがをする危険があります。エンジンを停止させたら、すべての部分が完全に停止するまで運転位置を離れないでください。
- ブレードコントロールバーから手を離すと、エンジンが停止し、3 秒以内にブレードの回転が停止するのが正常です。もし正しく停止しない場合には、直ちに機械の使用を停止し、代理店にご連絡ください。

- 作業場所に人を近づけないでください。作業場所に小さな子供を入れないでください。子供たちが周囲にいる時には、オペレータ以外の誰かが責任をもって子供を監視してください。人が近づいてきたら機械を停止させてください。
- 後退する場合には、常に自分の足元と後方の安全を確認してください。
- 機械の運転は十分な視界の確保ができる適切な天候条件のもとで行ってください。落雷の危険がある時には運転しないでください。
- また、ぬれた芝生や落ち葉の上はスリップしやすく、運転中に転んでブレードに触れると大けがをする危険もあります。ぬれた芝の刈り込みは避けてください。
- 見通しの悪い曲がり角や、茂み、立ち木などの障害物の近くや視界のきかない場所では安全に特に注意してください。
- 機械から排出される刈りかすを人に向けないでください。また、壁などにも向けないでください。異物が飛び出した時に跳ね返って身体に当たってけがをする恐れがあります。砂利道などをわたる場合には、ブレードの回転を止めてください。
- 隠れた穴、わだち、盛り上がり、岩などの見えない障害物に注意しましょう。不整地では、機械が転倒したり、足元が不確かになって運転姿勢が崩れたりする恐れがあります。
- 機械が何かにぶつかったり、異常な振動を始めたら直ちにエンジンを停止させ、機械各部全ての動作が停止するまで待って点火プラグのコードをはずし、その後に機械の点検を行ってください。異常を発見したら、作業を再開する前にすべて修理してください。
- 運転位置を離れる前に、エンジンを止め、可動部が完全に停止したのを確認してください。
- エンジン停止直後は、高温高圧状態となっていて触れると火傷を負う危険性があります。高音のエンジンに触れないように注意してください。
- エンジンは換気の十分確保された場所で運転してください。排気ガスには無臭で致死性の一酸化炭素が含まれています。
- 集草バッグ各部や排出シュートに摩耗や破損がないか頻繁に点検し、必要に応じ、トロの純正交換部品と交換するようにしてください。

斜面での安全確保

- 斜面は上り下りしながら作業するようにし、横断しながらの作業は絶対にしないでください。法面で方向を変える場合には、安全に十二分の注意を払ってください。
- 急斜面での刈り込みはしないでください。足元が不十分な場所ではスリップや転倒を起こしやすくなります。
- 段差や溝、大きく盛り上がった場所の近くなどでは十分に注意して作業してください。

自走運転

自走を開始するには自走バーをハンドルに押し付けるように握り込む図 19。

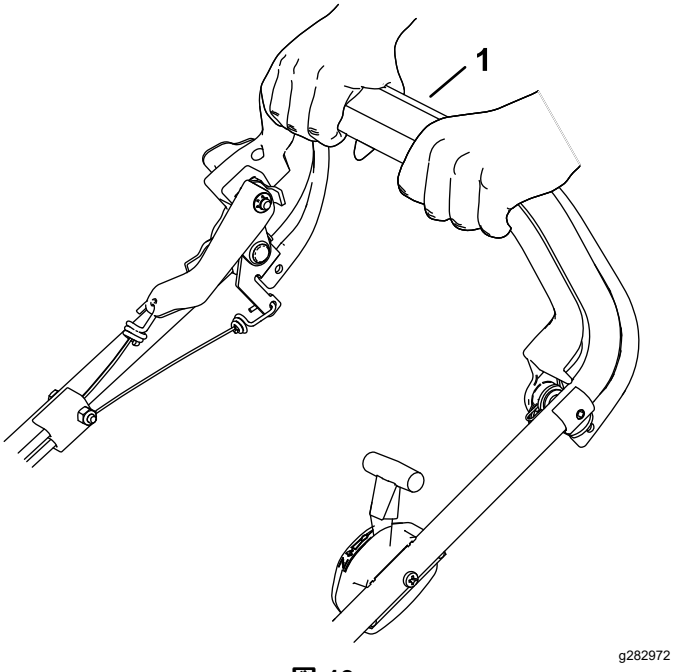


図 19

1. 自走バー

自走を停止するには自走バーから手を離す。

エンジンの停止手順

ブレードブレーキクラッチコントロールと自走バーから手を離し、エンジン速度コントロールを停止位置にしてください。

重要 **ブレードコントロールバーから手を離離すと、刈り込みブレードが 3 秒以内に停止するのが正常です。もし正しく停止しない場合には、直ちに機械の使用を停止し、代理店にご連絡ください。**

刈りかすを集草する場合

刈りかすを集めたい場合には集草バッグを取り付けます。

⚠ 警告

ほころびた集草バッグからは異物が飛び出す危険があり、異物が人に当たると大けがをする。

集草バッグは頻繁に点検すること。破損したバッグは新しい純正バッグに交換すること。

⚠ 警告

ブレードは非常に鋭利であり、触れると大けがをする危険がある。

エンジンを停止させたら、すべての部分が完全に停止するまで運転位置を離れないこと。

1. エンジンを止め、各部が完全に停止するのを待ちましょう。
2. 後部デフレクタを上に開いてその位置に保持する。
3. 集草バッグを取り付ける図 20。

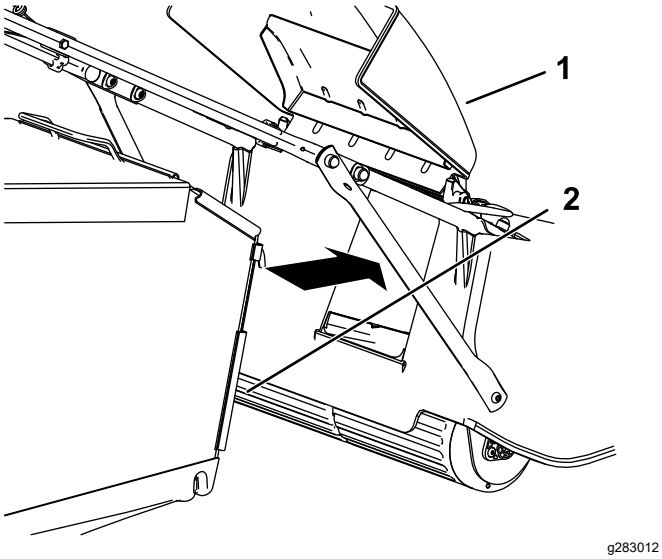


図 20

1. 後デフレクタ　　2. 集草バッグ

4. 後デフレクタを降ろす。

ヒント

刈り込みについての一般的なヒント

- これから機械で作業する場所をよく確認し、機械に巻き込まれそうなものはすべて取り除きましょう。
- 刈り込み中にブレードを硬いものに当てないように注意してください。障害物があるとわかっている場所は絶対に刈り込まないでください。
- 機械が何かにぶつかったり、異常な振動を始めたら直ちにエンジンを停止させ、機械各部全ての動作が停止するまで待って点火プラグのコードをはずし、その後に機械の点検を行ってください。
- シーズンの始めや必要に応じて、ブレードを新品純正品に交換することをお奨めします。

芝草の刈り込み

- 一度に刈り込む量は草丈のおよそ 1/3 程度までとしましょう。芝草がまばらにしか生えていない時や、成長が遅い時期晩秋以外は、刈高を 64 mm 以下にしないようにするのが良いでしょう。
- 草丈が15 cmを超えるような場所を刈り込む時には、最初に一番高い刈高でゆっくりと刈り込み、次に刈高を下げて刈るときれいにできます。草丈が高すぎるとブレードに絡みついてエンジンが停止する場合があります。
- ぬれた芝草やぬれた落ち葉は、あちらこちらにへばりつきやすく、刈り込みユニットに詰まってエンジンを停止させがちです。ぬれた芝の刈り込みは避けてください。
- 非常に乾燥した日には火災が起きやすくなります。気象警報などに注意し、機械の周囲に乾いた草や葉を放置しないように注意してください。
- 刈り込みの方向を毎回変えましょう。刈りかすが満遍なく分散し、自然に分解されて肥料となる点でもメリットがあります。
- 刈り上がりに満足できない場合には、以下のつまたはそれ以上をお試しください
  - ブレードを交換するかブレードの研磨を行う。
  - 刈り込み時の歩く速度を遅くする。
  - 刈り込みデッキの刈高設定を高くする。
  - 刈り込み頻度を増やす。
  - 刈り幅をすこしダブらせるようにしながら刈り込む。

落ち葉の刈り込み

- 一度刈り込みをした後、芝生の半分程度が落ち葉の上から透けて見える程度になっていることを確認してください。落ち葉の場合には、一回では完全に刈り込めない場合があります。
- 落ち葉が 13 cm 以上の深さに積もっている場合には、最初に高めの刈高で刈り込み、次に希望の刈高で刈るようにしてください。
- 落ち葉を十分に細かく切断できない場合には、歩く速度を落としてください。

運転終了後に

運転終了後の安全確保

安全に関する一般的な注意

- 必ず、機械を停止させ、各部の動きが完全に停止し、機体の温度が十分に下がったのを確認してから、調整、洗浄、格納、修理などの作業に掛かってください。

- 火災防止のため、機械に刈りかすなどが溜まらないように注意する。オイルや燃料がこぼれた場合はふき取る。
- ガス湯沸かし器のパイロット火やストーブなど裸火や火花を発するものがある近くでは、絶対に機械や燃料容器を保管格納しないでください。

搬送時の安全確保

- トラックなどへの機械の積み下ろしは十分注意して行ってください。
- 車体が落下しないように確実に固定してください。

機体の清掃

整備間隔: 使用後毎回

⚠ 警告

機体のハウジングの下側には刈かすなどがこびりつきます。

- **保護メガネ等着用のこと。**
- **エンジン作動中は、運転位置ハンドルの後ろから離れない。**
- **近くに人を寄せないこと。**

刈り込み作業が終わったらすぐに機械を洗浄するのがベストです。

重要 **薬剤散布後の芝生を刈り込んだ時は直ちに十分に水洗いしてください。**

注 エンジンに水を掛けないように注意してください。

1. 舗装された平らな場所に駐車する。
2. エンジンを停止させたら、すべての部分が完全に停止するまで運転位置を離れないでください。
3. 刈り込み作業後はデッキ上部から刈りかすなどの汚れを除去してください。
4. エンジン排気管、排気ガードを含む周囲、上部カウルの通風部、デッキとその周囲にたまった刈りかすやごみをすべて、ブラシや圧縮空気で除去する。
5. 刈り込みデッキを一番低い刈高に降下させる 刈り高の調整 (ページ 10)を参照。
6. 後部ドアの裏側刈りかすがデッキから出て集草バッグに入る部分を洗浄する。
7. 洗浄ポートにホースを接続し、ホースを水道栓につなぐ図 21。

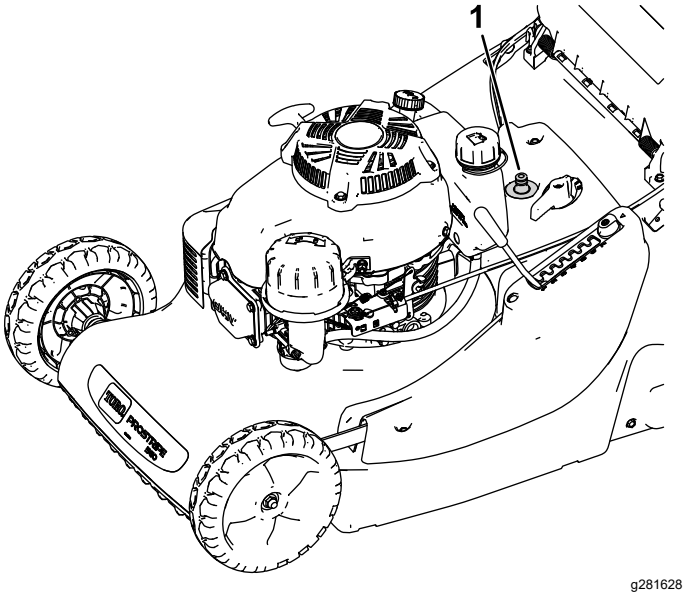


図 21

1. 洗浄ポート

8. 水道の水をだし、エンジンを始動してブレードを回転させ、デッキ下から刈りかすが排出されなくなるまで待つ。
9. エンジンを止め、水道を止め、ホースを外す。
10. エンジンを数分間運転してデッキの裏側から水分を完全に飛ばす。
11. 閉めきった場所に本機を保管する場合は、エンジンが十分冷えていることを確認してください。
12. こぼれたオイルや燃料はふき取ってください。

保守

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

推奨される定期整備作業

整備間隔	整備手順
使用開始後最初の 8 時間	· エンジンオイルを交換する。
使用するごとまたは毎日	· エンジンオイルの量を点検する。 · エンジン停止ハンドル（ブレードコントロールバー）から手を離すと 3 秒以内にエンジンが停止することを確認してください。 · 刈り込みブレードの状態を点検する。 · 使用前に必ず目視点検を行い、ガード類や安全装置が適切であることを確認してください。 · デッキにごみなどが詰まっていないこと、集草バッグが壊れていないことを確認（不良があれば交換）。
使用後毎回	· 機体の下部についている刈かすやよごれを除去する。
25運転時間ごと	· プレフィルタのスポンジを清掃する（ほこりのひどい場所で使用する場合はよりひんぱんに）。 · 時々自走運転ケーブルを点検し、必要に応じて調整してください。 · ブレードは、交換するか研磨するかする（刃先が丸くなるのが早い場合には回数を増やす）。 · ブレードを研磨する。
50運転時間ごと	· エンジン･オイルを交換する（ホコリのひどい場所で使用する場合は、より頻繁に手入れを行う）。
100運転時間ごと	· 点火プラグを交換する。
300運転時間ごと	· エアクリーナのペーパー･エレメントを交換する（ほこりのひどい場所で使用する場合はよりひんぱんに）。
長期保管前	· 修理やシーズン後の保管の前には、本書の説明に従って燃料タンクを空にする。
1年ごと	· ブレードを交換するかブレードの研磨を行う。 · エンジンの整備に関しての詳細は、付属のエンジンマニュアルを参照してください。

重要 **エンジンの整備に関しての詳細は、付属のエンジンマニュアルを参照してください。**

保守作業時の安全確保

- 必ず、機械を停止させ、各部の動きが完全に停止し、機体の温度が十分に下がったのを確認してから、調整、洗浄、格納、修理などの作業に掛かってください。
- 整備などの前には、必ず点火プラグコードを外してください。
- 整備を行う時は必ず手袋と保護めがねを着用してください。
- ブレードは大変鋭利ですブレードに触れると大けがをする危険があります。ブレードの整備を行う場合には手袋をはめてください。ブレードを修理したり改造して使用しないでください。
- 絶対に安全装置にいたずらをしないでください。安全装置が適切に作動するかを定期的に点検してください。
- 機体を傾けると燃料が漏れ出す可能性がある。燃料は非常に引火爆発しやすく、人身事故の原因となりうる。燃料を口で吸い出さないでください。ポンプで抜きとるかタンクが空になるまで運転してください。
- 機械の性能を完全に引き出し、かつ安全にお使いいただくために、交換部品やアクセサリは純正品をお使いください。他社の部品やアクセサリを御使用になると危険な場合があり、製品保証を受けられなくなる場合がありますのでおやめください。

整備作業にかかる前に

整備間隔: 100運転時間ごと

1. エンジンを止め、各部が完全に停止するのを待つ。

2. 整備などの前には、必ず点火プラグコードを外す図 22。

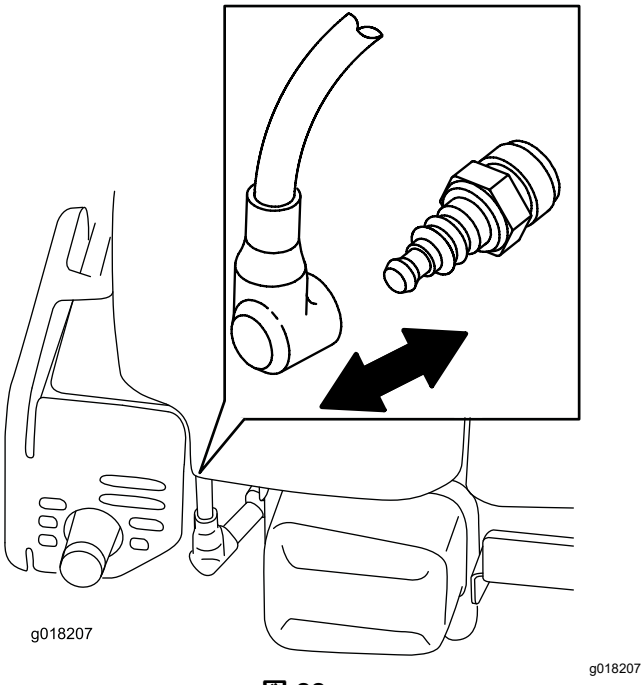


図 22

3. 整備作業が終了したら、点火プラグコードを元通りに取り付ける。

重要 **オイル交換やブレードの交換のために機体を倒す必要があるときは、まず、通常の運転によって燃料タンクを空にしてください。通常運転で燃料を使いきれない場合には、ポンプなどでタンクから燃料を吸いだしてください。機体を傾けるときには、エアフィルタが上になるように横方向に傾けてください。**

⚠ 警告

機体を傾けると燃料が漏れ出す可能性がある。燃料は非常に引火爆発しやすく、人身事故の原因となる。

燃料タンクが空になるまで運転するか、ポンプを使ってタンクからガソリンを抜くサイホンでくみ出さないこと。

エアフィルタの整備

整備間隔: 25運転時間ごと—プレフィルタのスポンジを清掃するほこりのひどい場所で使用する場合はよりひんぱんに。

300運転時間ごと—エアクリーナのペーパーエレメントを交換するほこりのひどい場所で使用する場合はよりひんぱんに。

重要 **エアフィルタアセンブリを外したままでエンジンを運転しないでください。エンジンに大きな損傷が起きる恐れがあります。**

1. 整備前の準備を行う 整備作業にかかる前に(ページ 16)を参照。
2. カバーをはずしてていねいに洗う図 23。

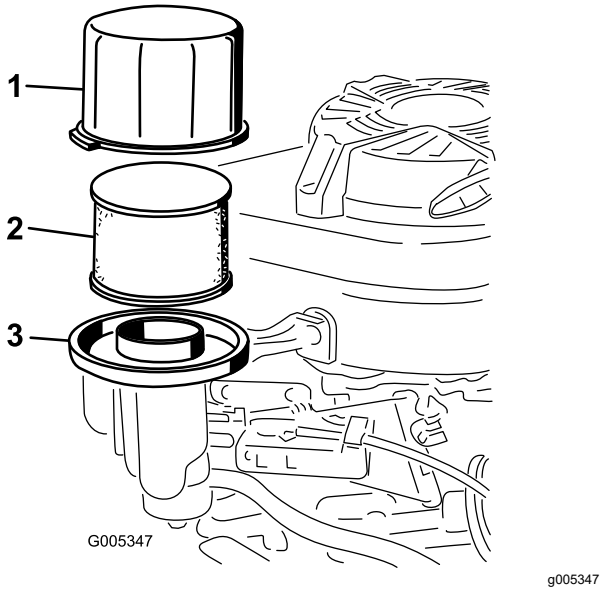


図 23

1. カバー
2. スポンジ製のプレフィルタとペーパーフィルタ
3. エアフィルタのベース

3. エアクリーナのベースから、プレフィルタとペーパーフィルタを取り外す図 23。
4. プレフィルタスポンジを外して水とソフトな洗剤で洗い、ウェスなどにはさんで水分を取る。
5. ペーパーエアフィルタを外して点検し、汚れがひどい場合には交換する。

   重要 **ペーパーエアフィルタは洗って再使用しないでください。**

6. プレフィルタをペーパーフィルタに取り付ける。
7. プレフィルタとペーパーフィルタをエアクリーナのベースに取り付ける。
8. カバーを取り付ける。

エンジンオイルの交換

整備間隔: 使用開始後最初の 8 時間

50運転時間ごと

エンジンを始動し、数分間回転させて内部のオイルを温める。オイルを温めると汚れがよく落る。

エンジンオイルの仕様

エンジンオイルの量	0.65 L オイルフィルタを含まない、0.85 L オイルフィルタを含む
オイルの粘度	SAE 30 または SAE 10W-30 洗浄性オイル
API 規格	SJ またはそれ以上のクラス

*オイルを抜いた後でも、クランクケースの中にオイルが残っています。オイルの全量を一度に入れないでください。エンジンオイルは以下の説明に従って入れてください。

1. 整備前の準備を行う 整備作業にかかる前に(ページ 16)を参照。
2. 燃料タンクに残っている燃料を抜く。
3. オイルドレンディップスティックの下に適当なオイル回収容器を置く。
4. ディップスティックの周囲をきれいにする。
5. キャップを左に回してディップスティックを抜き取る。
6. 機体を**右**エアフィルタが上になるように傾けて、エンジンオイルを抜く。
7. オイルが抜けたら機体を元通りに立てる。
8. オイル補給管から、必要量の約 ¾ をエンジンに入れる。
9. オイルがエンジン内部に落ち着くまで 3 分間待つ。
10. きれいなウェスでディップスティックをぬぐう。
11. ディップスティックを補給管に差し込み、**ねじ込まずに**引き出す。
12. ディップスティックの目印で油量を点検する。
    - 油量が少なすぎる場合は、補給管から少量を補給し、3 分間待って量を確認する。ステップ10~12を繰り返して適正レベルまでオイルを入れる。
    - 油量が多すぎる場合は、余分のオイルを抜いて適正量までオイルを減らす。

    重要 **オイル量が少なすぎても多すぎても、そのままでエンジンを運転するとエンジンを破損させる恐れがあります。**
13. ディップスティックを根元までしっかりと差し込む。
14. 使用済みのオイルは適切に処分してください。

自走運転ケーブルの調整

整備間隔: 25運転時間ごと

1. エンジンを停止する。
2. 機体を後方に引きながら自走バーを操作して後ローラをロックさせる。

   注 この状態で、自走バーがハンドルから 6 cm の距離にあるのが適正。

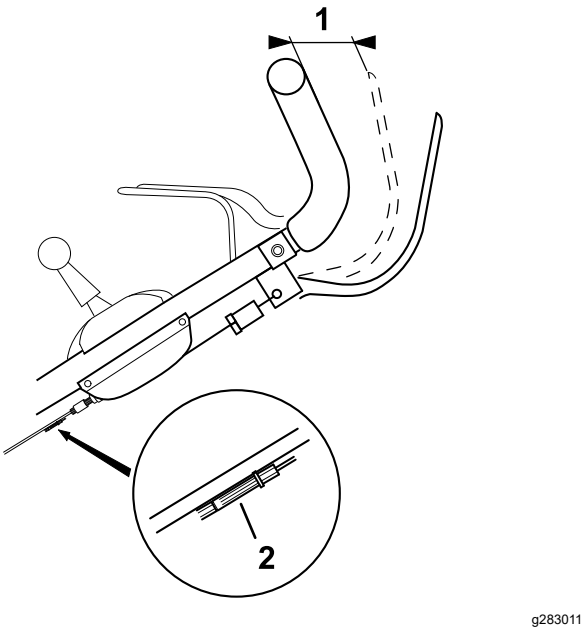


図 24

1. 6 cm
2. ケーブルアジャスタ

3. 自走バーとハンドルとの距離が 6 cm 未満の場合は、ケーブルアジャスタ黒色で適正距離に調整する。

ブレードの交換

整備間隔: 25運転時間ごと—ブレードは、交換するか研磨するかする刃先が丸くなるのが早い場合には回数を増やす。

1年ごと

重要 ブレードを適切に取り付けるにはトルクレンチが必要です。 **トルクレンチをお持ちでない場合や、この整備に不安がある場合には、弊社の正規サービスディーラにご相談ください。**

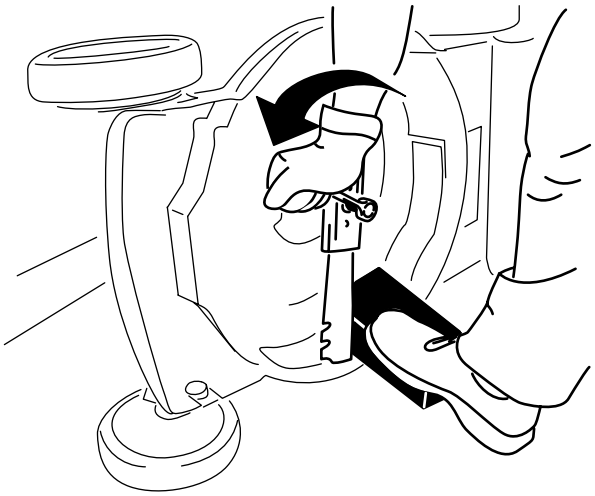
燃料が無くなったら、そのたびにブレードを点検してください。ブレードに破損や割れを発見した場合には直ちに交換してください。刃先が鈍くなっていたり、曲がったりしている場合には、研磨または交換してください。

⚠ 警告

ブレードは大変鋭利であるブレードに触れると大けがをする危険がある。

ブレードの整備を行う場合には手袋をはめる。

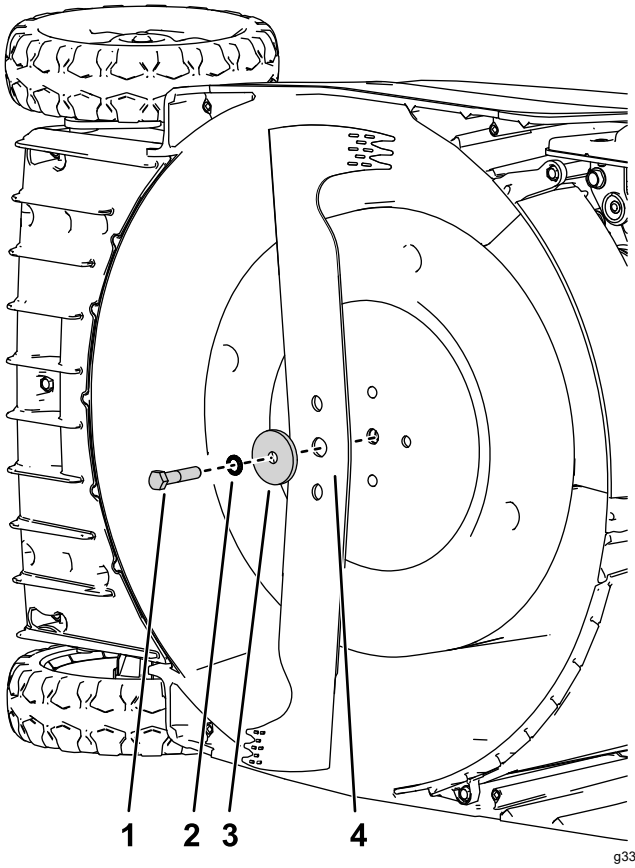
1. 点火プラグのコードを外す 整備作業にかかる前に (ページ 16)を参照。
2. 機体を傾けるときには、エアフィルタが上になるように傾ける。
3. 角材などを使ってブレードをしっかり保持する図 25。



g231389

図 25

4. ブレードを取り外す。外したボルト類はすべて保管する図 25。
5. 新しいブレードを取り付ける。外したボルト類を使用する図 26。



g338891

図 26

1. ボルト
2. ロックワッシャ
3. スペーサ
4. 枚刃

重要 **ブレードの立っている側セール部がハウジングを向くのが正しい取り付け方です。**

6. **トルクレンチを使って、ブレードを54 N·m8.3 kg.m = 40 ft-lbに締め付ける。**

ブレードの研磨

整備間隔: 使用するごとまたは毎日

25運転時間ごと

わずかに摩耗した程度のブレードであれば再研磨することができます。その場合、両側の刃先を同じだけ研磨することが必要です。

1. 機体からブレードを外す ブレードの交換 (ページ 19)を参照。
2. 水とブラシでブレードをきれいに洗浄し、破損していないか点検する。
3. 平ヤスリを使って両側の刃先を同じだけ研磨する。

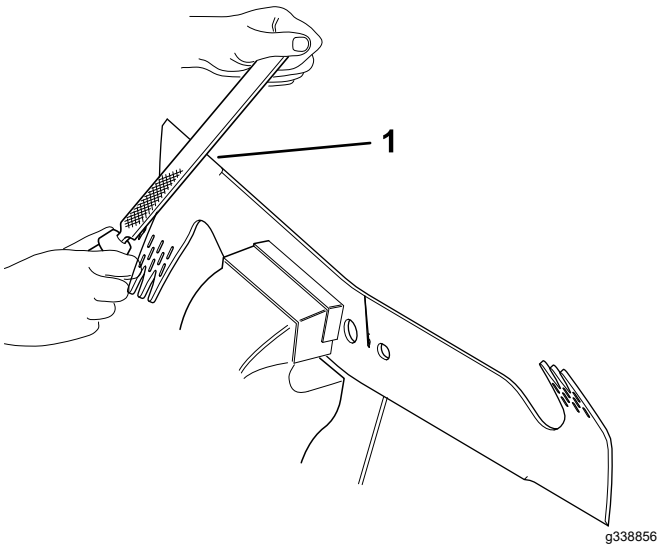


図 27

1. 研磨角度は 30° - 45°

4. 中央の穴にドライバーねじ回しを差し込んでブレードを宙吊りにする

   注 ブレードが水平状態で停止すればブレードのバランスはOK。

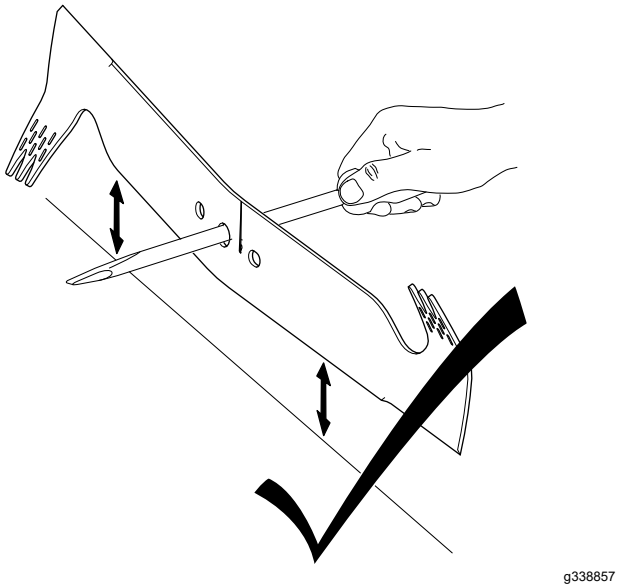


図 28

5. バランスが悪い場合は重い側を研磨して調整する。

   注 バランスが悪いブレードは、重い方の側が下がります。

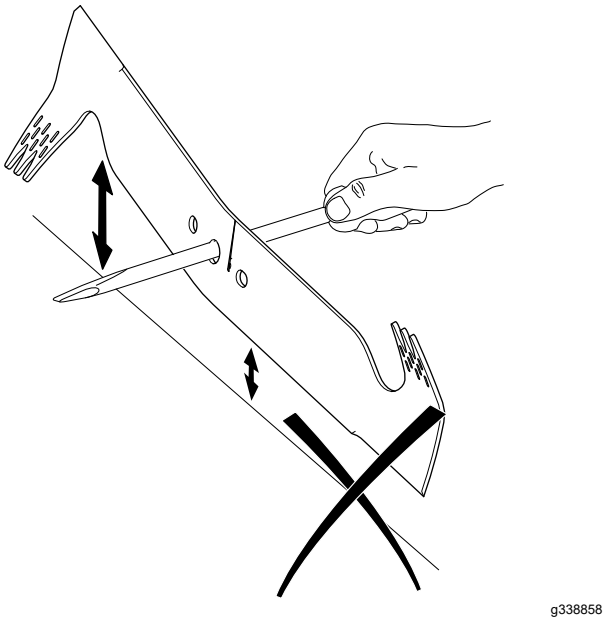


図 29

保管

保管は、汚れていない乾燥した場所で行う。

格納保管時の安全確保

必ず、機械を停止させ、各部の動きが完全に停止し、機体の温度が十分に下がったのを確認してから、調整、洗浄、格納、修理などの作業に掛かってください。

格納保管の準備

1. シーズン最後の燃料補給の時に、燃料スタビライザToro Premium Fuel Treatment などを添加しておく。使用方法は各製品の説明に従う。
2. 抜き取った燃料は適切に処分する。それぞれの地域の法律などに従って処分すること。

   重要 **エンジンの掛かりが悪い一番の原因は燃料タンク内部で燃料が劣化することです。燃料安定剤を添加していない燃料を30日以上にわたって保管しないでください。安定剤を添加した燃料であっても、安定剤メーカーが推奨する期間を越えて保管しないでください。**
3. エンジンを始動し、燃料切れで自然に停止するまで放置する。
4. エンジンを再度始動して自然に停止するまで運転する。プライミングしてもエンジンを始動できなくなれば内部のガソリンが完全になくなったとみなしてよい。
5. 点火プラグからワイヤを外し、格納用ポストが付いている機種ではワイヤを格納ポストに接続する。
6. 点火プラグを外し、15 ml のエンジンオイルを、プラグの取り付け穴から流し込み、スタータロープを ゆっくりと 数回引いて、エンジンオイルをシリンダ内部全体にゆきわたらせ、保管期間中の防錆とする。
7. 点火プラグを取り付け、23 N·m2 kg.m = 17 ft-lbにトルク締めする。
8. 機体各部のゆるみを点検し、必要な締め付けや交換、修理を行う。

保管状態から通常使用状態への復帰

1. 各ボルト類の締め付けを確認する。
2. 必要な整備をすべて行う保守 (ページ 16)を参照。
3. エンジンオイルの量を点検する エンジンオイルの量を点検する (ページ 9)を参照。
4. 燃料タンクに新しい燃料を入れる 燃料を補給する (ページ 9)を参照。
5. 点火コードを接続する。

EEA/UK におけるプライバシーに関するお知らせ

Toro によるお客様の個人情報の利用について

The Toro Company (“Toro”) は、お客様のプライバシーを尊重します。弊社の製品をお買い上げ頂いた際、弊社ではお客様に関する情報を、お客様から直接、あるいは弊社の支社や代理店を通じて入手いたします。入手した情報は、お客様との契約を履行するために使用されます。具体的には、お客様のための製品保証登録、保証請求の処理、万一製品をリコールする場合のご連絡、さらには弊社の事業を進めるため、たとえばお客様満足度を調査したり、製品の改良、またお客様にとって役に立ちそうな製品のご紹介などに使用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の子会社、提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。また、法律に基づく要請があった場合や、事業の売却、買収、合併などが発生した場合にはお客様の情報を開示する場合があります。ただし、マーケティングのためにお客様の個人情報を他社に売ることは絶対にいたしません。

個人情報の保存

Toro では、上記の目的にとって必要な期間にわたり関連法律に従ってお客様の個人情報を保持いたします。具体的な保持期間についての詳細をお知りになりたい方は以下にご連絡ください legal@toro.com。

セキュリティーについての Toro のお約束

あなたの個人情報についての情報処理作業は、米国またはあなたが居住される国のデータ保護関連規制よりも規制がゆるやかな第三国で行われる場合があります。あなたが居住する国の外にあなたの個人情報を移動させる場合、弊社は法に則った手続きでそれを行い、あんたに関わる個人情報が適切に保護され、また適切に取り扱われるように細心の注意を払います。

アクセスと訂正

お客様には、ご自身の個人情報を閲覧・訂正する権利があり、また、ご自身に関するデータの処理に対して異議申し立てないしは禁止を申し立てる権利があります。このような権利行使をなさりたい場合には legal@toro.com にメールでご連絡ください。弊社によるあなたの個人情報の取り扱い方法に関して懸念をお持ちの場合は、ご自身で直接弊社にお尋ねくださるようにお願いいたします。なお、ヨーロッパにお住まいの皆様は、Data Protection Authority に対して異議申し立てを行うことができます。

カリフォルニア州第65号決議による警告

この警告は何?

以下のような警告ラベルが貼られた製品を見かけることがあるでしょう

警告ガンおよび先天性障害の恐れ —www.p65Warnings.ca.gov.

Prop 65 って何?

Prop 65 は、カリフォルニア州で操業している企業、製品を販売している企業、カリフォルニア州で販売または同州に持ち込まれる可能性のある製品のメーカーを対象とした法律です。この法律では、ガン、先天性などの出生時異常の原因となることが知られている化学物質の一覧をカリフォルニア州知事が作成維持しこれを公表しなければならないと定められています。危険物リストは、日常の生活の中で使用するものから発見された数百種類の化学物質を網羅しており、毎年改訂されます。Prop 65 の目的は、こうした物質に触れる可能性があることを市民にきちんと知らせることです。

Prop 65 は、こうした物質を含む製品の販売を禁じているのではなく、そうした製品、製品の包装、製品に付属する文書などに警告を明記することを求めています。また、こうした警告があるからといって、その製品が何等かの安全基準に違反しているということではありません。実際、カリフォルニア州政府は、Prop 65 警告はその製品が安全か安全でないかを示すものではないと説明しています。こうした物質の多くは、様々な生活用品に何年も前から使用されてきておりますが、それらの物質が今までに何らかの健康問題を起こしたという記録はありません。さらに詳しい情報はこちらへhttps://oag.ca.gov/prop65/faqs-view-all.

Prop 65 の警告は、以下のうちのどちらかを意味していますある企業が自社製品への化学物質の使用量について評価したところ、目立った危険は何一つないとされる基準を超えていることがわかった、または (2) 製品に使用している化学物質は法律で規制されているものだったので、特に評価を行うことはせず、法に従って警告文を添付することにした。

この法律は全世界に適用されるのですか

Prop 65 警告はカリフォルニア州でのみ要求される法律です。Prop 65 警告はカリフォルニア州のいたるところで目にすることができます。レストラン、八百屋、ホテル、学校、病院など、そして非常に多くの製品にも、この警告が印刷されています。さらには、オンラインやメールオーダーのカタログなどにも掲載されています。

カリフォルニア州の警告と連邦政府の上限との関係は

Prop 65 の内容は連邦政府の規制や国際規制よりも厳しいものが大変多いです。Prop 65 の規制基準値は連邦政府基準に比べてはるかに厳しく、連邦政府基準では表示義務がないが、Prop 65 では表示義務があるものが数多く存在します。たとえば、Prop 65 の基準では、一日当たりの鉛の排出量が 0.5 マイクログラムとなっており、これは連邦政府の基準や国際基準よりもはるかに厳しい数値です。

似たような製品なのに警告が付いていないものがあるのはなぜ

- カリフォルニア州内で販売される場合には Prop 65 ラベルが必要でも、他の場所で販売される場合には不要だからです。
- Prop 65 関連で裁判となった企業が、和解条件として Prop 65 警告の表示に同意したが、そうした問題に巻き込まれていない企業の製品には何も表示されていないといったこともあるでしょう。
- Prop 65 の表示は必ずしも一律に行われているわけではないのです。
- 自社内で検討した結果、Prop 65 基準に抵触しないと判断して、警告の表示を行わないことを選択する企業もあります。警告が書かれていないからと言って、その製品に対象化学物質が含まれていないということは言えません。

なぜ Toro 製品にはこの警告が表示されているのですか

Toro では、十分な情報に基づいてお客様ご自身が判断できるようにすることがベストであるという考えから、できる限り多くの情報をお客様に提供することとしております。リスト記載物質のいくつかが自社製品に該当する場合、Toro では、それらの物質のほとんどの量はごくわずかであって実際の表示義務はないことを認識した上で、排出量などを厳密に評価することなく、警告を表示するという判断をすることがあります。Toro では、自社の製品に含まれる化学物質の量が「重大なリスクはない」レベルであると認識した上で、あえてProp 65 警告の表示を行うという選択をしております。これはまた、もし Toro がこうした警告を表示しなかった場合、カリフォルニア州政府や、Prop 65 の施行推進を目指す民間団体などから訴訟を提起される可能性もあるということも視野に入れての判断です。

Toro 製品保証

2 年間または 1,500 時間限定保証

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワランティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「 製品 」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2 年間または 1,500 運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証はエアレータを除くすべての製品に適用されますエアレータに関する保証については該当製品の保証書をご覧下さい。 この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「 製品 」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「 製品 」が納品された時点から有効となります。
*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「 製品 」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラー に対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなかったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department
Toro Warranty Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420-1196

952–888–8801 or 800–952–2740
E-mail: commercial.warrnty@toro.com

オーナーの責任

製品のオーナーは、*オペレーターズマニュアル*に記載された整備や調整を実行する責任があります。必要な整備や調整を怠ったことが原因で発生した不具合などの問題点はこの製品保証の対象とはなりません。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクサセリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。
- 運転上の過失、無謀運転など「 製品 」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 製品を使用したことによって消耗した正常なパーツ通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびベアリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、フローメータ、チェックバルブが含まれます。
- 以下のような外部要因が原因で発生する不具合天候、格納保管条件、異物、不適切な燃料、冷却液、潤滑剤、添加物、水、薬品などの使用。
- 適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。
- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。通常の使用に伴う「 汚れや傷 」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「 部品 」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出することのできるエネルギーの総量kWhが決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。 バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。
注リチウムイオンバッテリー バッテリーの保証内容をご確認ください。

クランクシャフトのライフタイム保証プロストライプ 02657 モデルのみ

トロ社の純正摩擦ディスクおよびクランク安全ブレードブレーキクラッチ統合ブレードブレーキクラッチBBC摩擦ディスクアセンブリを当初から搭載し、当初の購入者様がトロ社の推奨する運転方法および定期整備を遵守してご使用されたプロストライプ製品には、クランクシャフトの曲がり不具合に対するライフタイム保証が適用されます。摩擦ワッシャ、ブレードブレーキクラッチBBCその他のデバイスを搭載した製品には、このクランクシャフトのライフタイム保証は適用されません。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「 製品 」の維持に必要な作業であり、これらに関わる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての黙示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国内では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また黙示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

排ガス保証についてのご注意

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は弊社の正規サービスセンターにご相談ください。